

平成30年度 富山県公共事業再評価対象事業箇所一覧表

整理 番号	種別	事業名 路線名(工区名)・河川名等 事業箇所	着手	再評価 区分	事業計画概要	全体事業費 (百万円)	進捗率	再評価の概要 (対応方針の決定理由)	対応 方針 (案)
			完成			H29まで			
			経過年数			H30予定			
			残年数			H31以降残			
1	道路	道路総合交付金 一般県道 姫野能町線 射水市作道～高岡市中曽根	H26	再 【重点】	道路改良(バイパス) 延長1,800m、幅員13.5m	2,100	24.3%	・当路線は高岡市街地と射水市街地を東西方向に結び、国道8号を補完するとともに、国際拠点港湾伏木富山港の伏木地区と新湊地区の連絡を強化するなど、県西部の経済・産業の発展や地域の活性化に寄与する重要な路線である。 ・本線と並行する国道8号や国道415号の渋滞緩和はもとより、伏木富山港から能越自動車道高岡北IC等へのアクセス強化による三大都市圏との物流ネットワークの向上によりさらなる物流の効率化を確保を図る上で事業効果は高い。 ・用地補償、工事は順調に進捗しており、今後の工事に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H37			326			
			5年			184			
			7年			1,590			
2	道路	道路総合交付金 一般県道安居福野線(川崎橋) 南砺市上川崎	H26	再 【重点】	道路改良(橋梁架替) 延長500m、幅員10.0m	1,200	33.5%	・当路線は、沿線に学校や工場、東海北陸自動車道南砺スマートICがある重要な道路である。 ・当事業において架け替える川崎橋は、幅員が5.5mと狭く通行の支障となっているうえ、昭和31年の架設から62年が経過し、老朽化も進んでおり、安全で円滑な交通の確保を図る上で事業効果は高い。 ・用地補償が完了するなど今後の事業実施に向けて支障は無く、事業の継続が必要。	継続
			H35			334			
			5年			68			
			5年			798			
3	道路	道路総合交付金 一般国道472号 富山市八尾町福島～下新町	H26	再	橋梁架替 (十三石橋) 橋長104.4m 幅員11.0m	1,500	82.0%	・当路線は、射水市を起点として富山市婦中町を経由し、一級河川井田川を渡り八尾町中心部を経て岐阜県に至る路線で、第2次緊急通行確保路線にも指定されている重要な道路である。 ・当事業において架け替える十三石橋は、昭和10年の架設から83年が経過し、老朽化が進んでおり、災害に強く安全な道路機能の確保を図る上で事業効果は高い。 ・旧橋撤去は完了するなど今後の事業実施に向けて支障は無く、事業の継続が必要。	継続
			H31			901			
			5年			329			
			1年			270			

整理番号	種別	事業名 路線名(工区名)・河川名等 事業箇所	着手	再評価 区分	事業計画概要	全体事業費 (百万円)	進捗率	再評価の概要 (対応方針の決定理由)	対応 方針 (案)
			完成			H29まで			
			経過年数			H30予定			
			残年数			H31以降残			
4	道路	道路総合交付金 国道304号(高宮バイパス) 南砺市荒木～吉江野	H21	2回目	道路改良(バイパス) 延長1,700m、幅員16.0m	3,000 (2,400)	83.4%	・当路線は、東海北陸自動車道福光ICと福光市街地を結ぶ幹線道路であり、南砺市の観光・物流を支える重要な路線である。 ・当該区間は、JR城端線沿いに併行するため、踏切付近の各交差点は滞留スペース不足により交通事故が多く発生しているほか、通学路であるが歩道未整備区間もあることから交通の円滑化と歩行者の安全確保を図る上で事業効果は高い。 ・用地補償、工事は順調に進捗しており、今後の工事に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H32 (H30)			2,134			
			10年			367			
			2年			499			
5	道路	道路総合交付金 一般国道472号 富山市八尾町 ^町 折	H21	2回目	道路改良(拡幅) 延長360m、幅員8.5m	1,100 (605)	84.0%	・当路線は射水市から富山市八尾町を経て岐阜県郡上市に至る幹線道路であり、第2次緊急通行確保路線に位置づけられている。しかしながら、線形が悪いうえに、現況幅員が狭く、安全なすれ違いができないほか、斜面からの落石、雪崩等による危険性が高く、また、災害時には孤立集落を発生させる恐れがあり、安全で円滑な交通の確保を図る上で事業効果は高い。 ・用地補償、工事は順調に進捗しており、今後の工事に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H32 (H27)			826			
			10年			98			
			2年			176			
6	河川	河川総合交付金 泉川水系泉川 氷見市上泉外	H26	再	河川改修 延長500m 護岸工1,000m	450	71.6%	氷見市上泉外地内を流れる泉川では、川幅が狭いことから、浸水被害が発生(昭和51年、平成20年)しており、早急な河川改修が必要である。そのため、浸水被害の大きかった上泉、柳田地区において、河川整備を行っており、事業の継続が必要。	継続
			H33			259			
			5年			63			
			3年			128			
7	海岸	海岸総合交付金 富山海岸 富山市海岸通～浜黒崎	S41	5回目 【重点】	海岸整備 延長4,491m 護岸工3,823m 離岸堤 30基 副離岸堤 7基 人工リーフ4基 養浜 92,000㎡	13,700 (9,127)	69.9%	・昭和30年代後半から、侵食により砂浜が失われ、近年でも冬期波浪による被害が生じている。 ・護岸延長4,491mはすでに完成しており、副離岸堤7基、養浜の施工が残っている。 ・越波や海岸侵食から県民の生命・財産を守り、貴重な海岸環境を保全するため、事業の継続が必要。	継続
			H43 (H27)			9,460			
			53年			116			
			13年			4,124			

整理 番号	種別	事業名 路線名(工区名)・河川名等 事業箇所	着手	再評価 区分	事業計画概要	全体事業費 (百万円)	進捗率	再評価の概要 (対応方針の決定理由)	対応 方針 (案)
			完成			H29まで			
			経過年数			H30予定			
			残年数			H31以降残			
8	砂防	砂防総合交付金(砂防) 黒部川水系下立沢 黒部市宇奈月町下立	H26	再	砂防堰堤工 1基 (高さ9.5m 長さ41.5m)	150	54.0%	・土砂災害から下流の保全対象を守るため、砂防堰堤の整備が必要。 ・保全対象(人家41戸、鉄道206m)規模に変化はなく、事業着手時と同程度の効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H32			55	計画どおり		
			5年			26			
			2年			69			
9	砂防	砂防総合交付金(砂防) 仏生寺川水系宮の谷内 氷見市仏生寺	H26	再	砂防堰堤工 1基 (高さ9.5m 長さ36m)	141	78.7%	・土砂災害から下流の保全対象を守るため、砂防堰堤の整備が必要。 ・保全対象数(人家6戸、道路、避難所等)や規模に変化はなく、着手時と同程度の事業効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H31			76	計画どおり		
			5年			35			
			1年			30			
10	砂防	砂防総合交付金(砂防) 小矢部川水系湯谷道無谷 南砺市湯谷	H26	再	砂防堰堤工 1基 (高さ5.0m 長さ43.0m)	120	60.8%	・土砂災害から下流の保全対象を守るため、砂防堰堤の整備が必要。 ・保全対象数(人家8戸、市道、湯谷公民館など)や規模に変化はなく、事業着手時と同程度の効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障は無く、事業の継続が必要。	継続
			H31			32	計画どおり		
			5年			41			
			1年			47			
11	砂防	砂防総合交付金(砂防) 小矢部川水系太美谷 南砺市太美	H26	再	砂防堰堤工 1基 (高さ5.5m 長さ33.0m)	250	68.4%	・土砂災害から下流の保全対象を守るため、砂防堰堤の整備が必要。 ・保全対象数(人家3戸、県道、小矢部川第2発電所など)や規模に変化はなく、事業着手時と同程度の効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障は無く、事業の継続が必要。	継続
			H32			131	計画どおり		
			5年			40			
			2年			79			
12	砂防	砂防総合交付金(砂防) 庄川圏域緊急改築新屋小谷ほか 南砺市新屋ほか	H26	再	砂防堰堤改築 3基	294	87.8%	・昭和52年よりも以前の基準で設計された堰堤については、既設堰堤の改築等を行うことにより堤体の安定性を図る必要がある。 ・土砂災害から下流の保全対象を守るため、既存施設の改築が必要。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障は無く、事業の継続が必要。	継続
			H31			157	計画どおり		
			5年			101			
			1年			36			

整理 番号	種別	事業名 路線名(工区名)・河川名等 事業箇所	着手	再評価 区分	事業計画概要	全体事業費 (百万円)	進捗率	再評価の概要 (対応方針の決定理由)	対応 方針 (案)
			完成			H29まで			
			経過年数			H30予定			
			残年数			H31以降残			
13	砂防	砂防総合交付金(砂防) 小矢部川圏域緊急改築小谷谷川ほか 南砺市西明ほか	H26	再	砂防堰堤改築 2基	145	98.6%	・昭和52年よりも以前の基準で設計された堰堤については、既設堰堤の改築等を行うことにより堤体の安定性を図る必要がある。 ・土砂災害から下流の保全対象を守るため、既存施設の改築が必要。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障は無く、事業の継続が必要。	継続
			H31			95			
			5年			48			
			1年			2			
14	地すべり	砂防総合交付金(地すべり) 金山谷地区 魚津市金山谷	H26	再	地すべり対策 法面工 A=3,426㎡	280	62.1%	・平成26年7月の魚津市豪雨では民家裏などで斜面崩壊が発生し、民家横の納屋の屋根が損壊する等の被害があったことから、事業の実施により斜面下の住民の安全・安心度が向上し、効果がある。 ・保全対象数(人家25戸等)や規模に変化はなく、現在においても事業効果は高い。 ・事業については順調に進捗しており、事業の継続は必要。	継続
			H34			132			
			5年			42			
			4年			106			
15	砂防	砂防総合交付金(砂防) 小川水系石谷川 朝日町南保	H21	2回目	砂防堰堤工 1基 (高さ 8.0m 長さ 114.0m)	500	59.2%	・土砂災害から下流の保全対象を守るため、砂防堰堤の整備が必要。 ・地元要望も強く、朝日町の重要要望箇所である。 ・保全対象数(人家4戸、県道等)や規模に変化はなく、事業着手時と同程度の効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・一部地権者との用地交渉が難航したため遅れているが、現在は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H32			(200)			
			(H28)			254			
			10年			42			
16	砂防	砂防総合交付金(砂防) 余川川水系余川川 氷見市一ノ瀬	H21	2回目	護岸工 400m	240	75.8%	・河川断面が狭小で、かつ、蛇行屈曲が激しいため、下流では堤防決壊等の被害を受けてきたことから、護岸工の整備が必要。 ・保全対象数(人家44戸等)や規模に変化はなく、着手時と同程度の事業効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・現在は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H32			162			
			(H29)			20			
			10年			58			
17	地すべり	砂防総合交付金(地すべり) 鞍骨地区 氷見市鞍骨	H21	2回目	地すべり対策 横ボーリング工 5,235m 水路工 L=1205m 井桁擁壁工 N=2基	210	91.4%	・当地区は、平成20年に人家付近で崩落が発生したほか、それ以降も法面の崩壊が確認されており、横ボーリング工による地すべり対策の実施が必要。 ・保全対象数(人家11戸など)や規模に変化はなく、事業着手時と同程度の効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H31			180			
			(H30)			12			
			10年			18			

整理 番号	種別	事業名 路線名(工区名)・河川名等 事業箇所	着手	再評価 区分	事業計画概要	全体事業費 (百万円)	進捗率	再評価の概要 (対応方針の決定理由)	対応 方針 (案)
			完成			H29まで			
			経過年数			H30予定			
			残年数			H31以降残			
18	急傾斜	砂防総合交付金(急傾斜) 常願寺川圏域大松地区 上市町大松	H21	2回目	急傾斜地崩壊対策 L=350m 法面工 6,500㎡	525	87.8%	・当地区は、人家背後に急斜面が迫り、斜面崩壊の痕跡が多く確認され、豪雨等による土砂災害が危惧されることから法面工等の整備が必要。 ・保全対象数(家屋18戸など)や規模に変化はなく、事業着手時と同程度の効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H32 (H30)			(500)			
			10年			419			
			2年			42			
19	急傾斜	砂防総合交付金(急傾斜) 小杉(2)地区 氷見市小杉	H21	2回目	急傾斜崩壊対策 L=110m 崩壊土砂防止柵工 L=110m 吹付法砕工 A=150㎡	230	71.7%	・当地区は、昭和56年から擁壁工等を整備したが、平成10年に斜面崩壊が発生した箇所であり、隣接する未対策区間を含めて崩壊土砂防止柵等の急傾斜地崩壊防止対策の実施が必要。 ・保全対象数(人家13戸など)や規模に大きな変化はなく、事業着手時と同程度の効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H32 (H29)			154			
			10年			11			
			2年			65			
20	砂防	砂防総合交付金(砂防) 早月川水系西谷川 滑川市菟輪	H16	3回目	砂防堰堤工 1基 (高さ8.5m 長さ76m)	520	81.7%	・土砂災害から下流の保全対象を守るため、砂防堰堤の整備が必要。 ・地元要望も強く、滑川市の重要要望箇所である。 ・保全対象(人家3戸、県道600m)規模に変化はなく、事業着手時と同程度の効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・事業用地の取得や軟弱地盤の対策に遅れを生じていたが、事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H31 (H27)			(150)			
			15年			362			
			1年			63			
21	地すべり	砂防総合交付金(地すべり) 田蔵地区 上市町東種	H16	3回目	地すべり対策 集水井工 3基 横ポーリング工 2,215m	487	86.0%	・当地区は、大規模な地すべりや地すべり性の変状が見受けられたため、集水井・横ポーリング等の地すべり対策の実施が必要。 ・保全対象数(人家96戸など)や規模に変化はなく、事業着手時と同程度の効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H31 (H26)			(370)			
			15年			393			
			1年			26			

整理 番号	種別	事業名 路線名(工区名)・河川名等 事業箇所	着手	再評価 区分	事業計画概要	全体事業費 (百万円)	進捗率	再評価の概要 (対応方針の決定理由)	対応 方針 (案)
			完成			H29まで			
			経過年数			H30予定			
			残年数			H31以降残			
22	地すべり	砂防総合交付金(地すべり) 沢連地区 富山市山田沢連	S48	5回目	地すべり対策 集水井工 6基 横ボーリング工 38,060m アンカー工 167本	1,722	97.0%	・当地区は、昭和55年に大規模な地すべりが発生しており、その後も融雪期等に小規模な法面崩壊が頻発していた。また、平成16年には、市道に亀裂が発生するといった被害が発生した箇所である。 ・保全対象数(人家35戸など)や規模に変化はなく、事業着手時と同程度の効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H32			(1,592)			
			(H26)			1,644			
			46年			26			
			2年			52	計画を見直しH32頃に完了見込み		
23	地すべり	砂防総合交付金(地すべり) 胡桃地区 氷見市胡桃	S33	5回目	地すべり対策 集水井工 32基 排土工 158,000m ³ 盛土工 142,000m ³ 横ボーリング工 2,400m	2,839	98.3%	・当地区は、昭和39年に大規模な地すべり災害等が発生したことから対策を進めてきたが、平成9年に別ブロックでも地形の激しい変状が発生したため、集水井・排土等の地すべり対策の実施が必要。 ・保全対象数(人家14戸など)や規模に変化はなく、事業着手時と同程度の効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・現在は順調にすすんでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H32			(2,660)			
			(H27)			2,749			
			60年			42			
			2年			48	計画を見直しH32頃に完了見込み		
24	地すべり	砂防総合交付金(地すべり) 論田熊無地区 氷見市論田	S35	5回目	地すべり対策 集水井工 52基 横ボーリング工 22,335m 法面保護工 3,894m ²	4,728	99.3%	・地すべりの痕跡が数多く確認され、豪雨時や融雪期等に地すべりの発生が危惧されている箇所です、横ボーリング・集水井等の地すべり対策の実施が必要。 ・保全対象数(人家248戸、国道415号等)や規模に変化はなく、着手時と同程度の事業効果が見込まれ、事業効果は高い。 ・現在は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H31			(4,545)			
			(H27)			4,672			
			58年			24			
			1年			32	計画を見直しH31頃に完了見込み		
25	港湾	港湾総合交付金 伏木富山港(富山地区) 富岩運河・住友運河	H20	2回目 【重点】	港湾環境整備事業 富岩運河(右岸) 延長L=約1.8km 住友運河 延長L=約2.1km	1,910	60.4%	・本事業は、重要文化財に指定されている中島閘門の周辺をはじめ、運河周辺において遊歩道、植栽等を備えた緑地を整備し、運河を中心とした賑わいある地域づくりを促進するものであり、事業効果は高い。 ・富岩運河の中島閘門下流部の緑地整備について、地元から強い要望がある。 ・住友運河においては、老朽化が著しい既設護岸の対策が急務となっており、その更新に併せたうろおいのある水辺空間や良好な住環境を創出する遊歩道整備の事業効果は高い。 ・事業は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
			H36			(1,796)			
			11年			993			
						161			
			6年			756	計画どおり		

整理 番号	種別	事業名	着手	再評価 区分	事業計画概要	全体事業費 (百万円)	進捗率	再評価の概要 (対応方針の決定理由)	対応 方針 (案)
		路線名(工区名)・河川名等 事業箇所	完成			H29まで			
			経過年数			H30予定			
			残年数			H31以降残			
26	街路	街路総合交付金	H26	再	道路改良	500	64.2%	・当路線は、富山市旧大沢野町市街地の東西軸として市街地形成に寄与するとともに、国道41号と(主)富山笹津線を東西に連結する重要な幹線道路である。 ・大沢野小学校の通学路に利用されており、拡幅改良及び歩道整備により、安全で円滑な交通の確保を図る上で事業効果は高い。 ・また、当該区間の沿線には大沢野消防署があり、緊急車両の円滑な通行の確保を図る上でも事業効果は高い。 ・用地補償は順調に進んでおり、今後の事業実施に向けて特に支障はなく、事業の継続が必要。	継続
		都市計画道路上大久保上二杉 線	H32		延長756m、幅員12m	238			
		富山市上大久保～上二杉	5年			83			
			2年			179			
27	下水道	小矢部川流域下水道事業	S56	5回目 【重点】	計画区域面積 10,755ha	110,000	93.1%	・小矢部川流域下水道は、5市(高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市)からの汚水を処理する流域下水道事業であり、住民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図ることを目的としている。 ・処理場については、関係市からの流入水量の推移に合わせて、計画的に水処理施設を建設する。 ・幹線管きょについては、下水道の未普及地域の解消等のため、整備を促進する。 ・平成23年の計画見直しで処理場の規模を適正な規模に縮小することなど、コスト削減を図っている。 ・県内の汚水処理人口普及率は着実に増加しており、今後は普及率の低い砺波市および小矢部市等の下水道整備を促進するため、事業の継続が必要。	継続
		小矢部川流域下水道	H37		計画処理人口 258,900人	101,480			
		高岡市二上外	38年		計画下水量 189,400m3/日	919			
			7年		水処理系列 8系列 汚泥処理施設 1式 幹線管きょ延長149km	7,601			